

令和3(2021)年度 奥田元宋・小由女美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

本年度は、大雨により市内全域に避難勧告（洪水）避難指示が発表されたことにより来館者の安全確保を図るため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国、県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け、次の期間臨時休館した。

○大雨による休館期間

令和3年8月14日(土)午後～8月15日(日)

○新型コロナウイルス感染拡大による休館期間

令和3年8月30日(月)～9月30日(木) 32日間

令和4年1月14日(木)～3月6日(日) 52日間

【公益目的事業】

1 展示事業

奥田元宋の「日本画」と奥田小由女の「人形」を展示する常設展と年5回程度の企画展を開催した。

(1) 常設展の開催

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	第1期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設展のみの期間 5月7日～5月11日(5日間)	109人
		展示期間 4月15日～6月22日(60日間)	136人
	【概要】常設展示室照明改修(LED化)後初めての常設展示であり、15周年記念セレモニー(延期)を踏まえたそれぞれの代表作を展示した。疎開期の作品から《花ひらく南房》《陸中》など作風転換期の代表作、「元宋の赤」まで幅広い作風を紹介。奥田小由女作品は《或るページ》や《海の詩》などの受賞作や元宋との共作である《春陽清韻》をはじめとする「白の時代」と「色彩の時代」の作品を展示した。総点数42点。		
2	第2期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設展のみの期間 6月28日～7月6日(8日間)	105人
		展示期間 6月24日～8月29日(58日間) ※会期 6月24日～9月28日(86日間)	226人

2	<p>【概要】会期が「夏」の期間であることから、「花ひらく南房」や「立夏」など、夏らしくあり、色彩が鮮やかな作品を多く紹介した。また元宋2展示室では掛軸作品や1950年代～1980年代にかけての小作を展示し、幅広い作風を紹介した。奥田小由女の人形については白の時代から色彩の時代まで幅広い時期にわたる作品を展示し、作風の変化を追える展示とした。総点数49点。コロナ禍における広島県の緊急事態措置を受けた臨時休館のため、8月29日(日)で会期終了となった。</p>		
3	<p>第3期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」</p>	<p>常設展のみの期間 11月5日～11月9日(5日間)</p>	371人
		<p>展示期間 10月1日～12月21日(71日間)</p>	635人
3	<p>【概要】秋から冬にかけての会期を意識し、元宋作品では「輪廻の谿」や「晩秋地藏峠」などの「元宋の赤」を堪能いただける作品を展示。元宋2室では「綵苑」を紹介した。小由女作品では大型レリーフ作品の「森のシンフォニー」を展示。作品世界の幅広さを紹介する展示とした。総点数42点。コロナ禍における広島県の緊急事態措置を受けた臨時休館のため、10月1日から公開。</p>		
4	<p>第4期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」</p>	<p>常設展のみの期間 3月7日～3月31日(21日間)</p>	312人
		<p>展示期間 12月23日～3月31日(36日間)</p> <p>全展示期間 ※会期12月23日～ 令和4(2022)年4月24日(102日間)</p>	898人
4	<p>【概要】お正月らしく元宋の師である児玉希望の「波濤群鶴」、元宋作品では立山仙人池のスケッチや、日彰館高等学校ゆかりの作品「陸中」を展示。小由女作品では、前期に続いて大型レリーフ「森のシンフォニー」を展示。総点数40点 コロナ禍における広島県の緊急事態措置を受けた臨時休館のため、1月14日から3月6日まで臨時休館し、3月7日から公開。</p>		
	<p>合 計 (常設展のみ 39日間)</p>		897人

(2) 企画展の開催

企画展は、年5回の企画展を実施した。

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	田中一村展	4月1日～5月5日(31日間)	9,775人
	奄美へとつづく道	※会期 3月26日～5月5日(37日間)	(10,828人)
	<p>【概要】「南の琳派」と評される孤高の画風で数多くのファンを魅了する画家・田中一</p>		

	<p>村の初期から晩年までの作品およそ70点を展示し、その画業を紹介した。</p> <p>会期中、3月27日(土)には本展監修者の大矢鞆音氏を講師に招き記念講演会を開催し、およそ20名の参加者を得た。また、4月18日(日)には担当学芸員によるロビートークを開催しおよそ30名の参加者を得た。いずれも感染症対策を踏まえ、申込者数の制限や開催場所の変更などを行い開催した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		
2	原田治展 「かわいい」の発見	5月13日～6月27日(40日間)	8,326人
	<p>【概要】1970年代後半から90年代にかけて爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS」の生みの親、原田治の没後初の全国巡回展。日本の”かわいい”文化に多大な影響を与えた広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に原田治の全貌を紹介した。</p> <p>会期中、広島県の緊急事態措置を受けて5月16日(日)から6月20日(日)にかけて三次市外からの来館自粛を呼びかけた。</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		
3	シルバニアファミリー展	7月8日～8月29日(46日間) ※会期 7月8日～9月5日(53日間)	16,351人
	<p>【概要】1985年、エポック社から発売されたおもちゃの「シルバニアファミリー」シリーズについて、人形をはじめ、お家や家具など国内で販売された約1,000点以上を展示公開した。</p> <p>会期中、広島県への緊急事態宣言の発出に伴い、8月30日(月)から臨時休館のため、予定会期の途中で閉会した。また、みよし風土記の丘ミュージアム・三次商工会議所との連携事業として実施したが、みよし風土記の丘ミュージアムの臨時休館に伴い新規受付を8月2日(月)から停止した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		
4	ホキ美術館名品展	10月1日～11月3日(30日間) ※会期 9月16日～11月3日(44日間)	8,870人
	<p>【概要】ホキ美術館所蔵の23作家による名品62点を展示。臨時休館により、15日間短縮しての開催となった。9月16日(木)～9月30日(木)は、新型コロナウイルス感染拡大緊急事態宣言発出に伴い臨時休館。</p> <p>会期中の10月9日には人数制限・コロナ対策を行った上で本展出品作家の一人である石黒賢一郎氏による講演会を実施した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		
5	藤井フミヤ展 Fumiyart 2021 THE DIVERSITY	11月11日～令和4(2022)年1月13日 (51日間) ※会期 11月11日～令和4(2022)年1月16日 (54日間)	12,344人

【概要】歌手のみならずアーティスト活動でも注目を集める藤井フミヤの初期作品から最新作までを網羅した展覧会。2020年～2021年制作の新作から美術館建築にあわせて制作した描き下ろし作品を含め、油彩画、水彩画、CGアート、切り絵、貼り絵、ボールペン画など、多種多様な技法を用いた作品約100点を公開。

広島県内のまん延防止等重点措置を受け、令和4(2022)年1月8日(土)から三次市外からの来館自粛を呼び掛ける。また新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の決定を受けて1月14日(金)から臨時休館とし、3日間を残して会期を終了した。

(企画展主催者：当美術館，中国放送，中国新聞社)

※常設展のみ(39日間) 897人 企画展(198日間) 55,666人

小計 292日間 56,563人

※貸会場等0人

来館者合計 56,563人

2 調査研究，収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中である。

(2) 作品収集

奥田元宋・小由女作品についての寄贈・寄託の受け入れを継続している。

3 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー等活用事業

市内各種文化団体の作品の成果の発表の場として展示会場を提供する。
市民ギャラリー利用なし。

(2) ロビーコンサート事業

月1回の満月日に地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場としてコンサートを実施しているが4月に実施して以降，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月まで中止した。10月から12月まで再開したが，2022年3月も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，中止して年度内4回実施となり，延べ387人の集客を図った。

(3) 学校連携事業

ア 鑑賞事業

鑑賞希望の学校と連携し，展示作品についての児童相互の意見交換など

事前学習を行ってから鑑賞を実施し、児童生徒の鑑賞力と発表力を養っている。

	対 象	参加校数	参加人数
1	小学生	10校	141人
2	中学生	1校	9人
	合 計	11校	150人

イ ワークショップ事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施。

シルバニアファミリー展では、ワークショップの代替としてぬりえ台紙を作成し市内保育施設等に配布し、応募された作品については館内サイネージにて掲出。

4 広報、宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

	企画展名	広報内容
1	田中一村展 奄美へとつづく道	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCM等）、美術の窓、さんいんキラリ、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介
2	原田治展 「かわいい」の発見	中国新聞社（作品解説連載など）。中国放送（ラジオCM、電話出演で展覧会紹介等）。読売新聞（展覧会の取材記事掲載）。エフエムふくやま（電話出演で展覧会紹介）、テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介。
3	シルバニアファミリー展	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCM等）、美術の窓、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介
4	ホキ美術館名品展	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCM等）、尾道エフエム放送、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介

		介
5	藤井フミヤ展 Fumiyart 2021 THE DIVERSITY	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオ CM, ラジオ出演等）、NHK 広島放送局「ひるまえ直送便」、エフエムふくやま、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介

(2) その他広報、宣伝活動

地域の芸術、文化の振興に寄与することを目的に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、美術館や常設展、企画展についての情報提供を行った。

ア インターネットを活用した広報活動

- ① 美術館ホームページの運営
- ② 各種 SNS アカウントの活用
(Twitter・Instagram・LINE・facebook・YouTube)

イ 独自の事業・イベント活動

- ① 10月2日(土)に奥田小由女先生に出席いただき開館15周年記念式典を行った。前日の10月1日(金)には、広島県庁で湯崎知事から、奥田小由女先生へ「広島県名誉県民」の称号記が授与された。
- ② 4月27日(火)の満月開館延長日に「満月撮影入門」と題してスマートフォンを使って月を美しく撮影する方法や SNS アップの方法など写真撮影講習会を実施した。(講師：繪堂晃氏 参加者15名)
- ③ Instagram フォトコンテストを実施した。
6月25日(金)～8月31日(火)「我が家から見た自慢の満月」
(投稿枚数 49枚, アカウント数)
9月21日(火)～11月30日(火)「我が家から見た自慢の満月2021秋」
(投稿枚数 137点, 入賞作品8点をホームページにアップし館内掲示を行う)
令和4(2022)年3月18日(金)～募集中「自慢の満月フォト2022春」
- ④ 「4館周遊割引券」を10月1日(金)から発行。財団所属の美術館・博物館の連携及び来館者の周遊を促進する。(9月開始予定をコロナ禍で延期)
- ⑤ 美術館ニュースの発行 (令和4(2022)年3月発行：4,000部)

ウ 他館・地域と連携した活動

- ① 備北交通株式会社と連携し、直行便（広島バスセンター～美術館の往復）を運行。
- ② 国の地域観光事業支援補助金「やっぱり広島じゃ割」のクーポン券取扱いの実施。10月15日(金)開始 88枚(88,000円)利用。
- ③ 三次市観光キャンペーン実行委員会の三次市周遊キャンペーン事業へ協賛施設として登録。

(利用状況：4月1日(木)～11日(日)⇒15名，

10月22日(金)～1月26日(水)⇒588名)

- ④ シャッターアート

8月21日(土)～11月18日(木)まで、広島県美術館ネットワーク幹事館の呼びかけで、県内6館が参加し、広島市地下街の「紙屋町シャレオ」の南通りの店舗のシャッターに、各美術館のコレクションの画像をラッピングした。

〈参加美術館〉 広島県内の美術館6館

(泉美術館, ウッドワン美術館, 海の見える杜美術館, 奥田元宋・小由女美術館, 広島市現代美術館, ひろしま美術館)

エ 新型コロナウイルス感染症拡大による広報活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、県外及び県内への営業活動を自粛し、県内を中心に企画展のポスター・チラシ等を送付し、広報活動を実施した。

5 美術館ボランティア「OGS 夢スタッフ」の活動状況

(1) 総括

ア 登録総数 211人(延べ活動者数2,411人)

活動者数は受付・監視2,145人, 環境美化208人, 広報50人, 呈茶は活動なし, 事務イベント8人

イ 活動内容

受付・監視, 環境美化, イベント補助, 広報(ボランティアニュース奇数月発行)

※ 呈茶, 発送作業は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動なし, 作品ガイドは休止中

- ・受付・監視グループ
 - 4月1日(木)～8月29日(日) 監視実施
 - 8月30日(月)～9月30日(木) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館により、活動休止
 - 10月1日(金)～~~[落田]~~11月13日(木) 監視実施
 - 1月14日(火)～3月6日(金) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館により、活動休止
 - 3月7日(月)～ 監視実施
- ・環境美化グループ
 - 美術館周辺の清掃，草取り，草刈，植栽・芝生の管理
 - 12月には門松製作（正面玄関前の一か所，開館以来16回目）
- ・広報グループ
 - 会報「OGS 夢スタッフニュース」を奇数月に発行した。
- ・呈茶グループ
 - 活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止
- ・イベント・事務補助グループ
 - 4月，10月，11月，12月 満月ロビーコンサート司会

ウ 先進地視察

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，未実施。

エ 各企画展開幕前内覧会と企画展研修会の実施

「原田治展「かわいい」の発見」

5月12日(水) 内覧会 参加者15人

5月15日(土) 企画展研修 参加者8人

「シルバニアファミリー展」

7月7日(水) 内覧会 参加者32人

7月10日(土) 企画展研修 参加者6人

「ホキ美術館名品展」

9月15日(水) 内覧会及び9月18日(土)企画展研修は臨時休館により中止

「藤井フミヤ展 Fumiyart2021 The Diversity」

11月10日(水) 内覧会 参加者41人

11月13日(土) 企画展研修 参加者12人

オ 奥田小由女先生による作品解説会（ボランティア向け）の実施

10月2日(土)小由女先生による作品解説会 参加者34人

【収益事業】

1 美術関連品提供事業（ショップ事業）

(1) 常設ショップ

元宋・小由女作品のオリジナルグッズを中心に販売を実施。

また、三次市が行うふるさと納税寄付者に対する「お礼産品」の取り扱いを行った。（ふるさと納税件数:9件）

商品売上額 1,697,527 円（内図録販売額 204,275 円）

複製画売上額 1,925,000 円（手数料収入額 458,590 円）

(2) 企画ショップ

各企画展において関連グッズや関連書籍の販売を実施。

（販売は委託販売で手数料収入）

企画展名	売上額	手数料収入額
田中一村展 奄美へとつづく道 （令和3年4月1日から）	13,019,023 円	1,601,733 円
原田治展「かわいい」の発見	20,832,688 円	3,136,977 円
シルバニアファミリー展	19,130,907 円	3,439,956 円
ホキ美術館名品展	3,291,062 円	614,097 円
藤井フミヤ展	12,179,376 円	1,949,269 円
合 計	68,453,056 円	10,742,032 円

2 レストラン賃貸借事業

年間を通じて安定したレストラン経営ができるようサポートし、賃貸借事業を実施した。

月	利用者数	企画展名
4	1,884 人	田中一村展（4/1～）
5	1,124 人	田中一村展（～5/5） 原田 治展（5/13～）
6	1,255 人	原田 治展（～6/27）
7	1,150 人	シルバニアファミリー展（7/8～）
8	1,076 人	シルバニアファミリー展（～8/29） 緊急事態宣言臨時休館（8/30～）
9	0 人	緊急事態宣言臨時休館
10	1,866 人	ホキ美術館名品展（10/1～）

11	1,661人	ホキ美術館名品展（～11/3） 藤井フミヤ展（11/11～）
12	1,240人	藤井フミヤ展
1	453人	藤井フミヤ展（～1/13） まん延防止臨時休館（1/14～
2	0人	まん延防止休館期間中展示室LED工事有（～3/6）
3	553人	常設展（3/7～3/31）
合計	12,262人	

4月～3月までのレストラン利用客数 12,262人（51.7人/日）

（前年度比 △1,406人）

3 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施している。茶室「待月庵」にて呈茶を行うボランティア「茶室協議会」の協力で、土日祝日を中心に呈茶サービスを行っている。令和3(2021)年度は新型コロナ禍のため、十分に呈茶を行うことができなかったが、4月11日(日)、18日(日)、27日(日 満月)、29日(木)、10月20日(水)、11月28日(日)の6日間、感染対策を行ったうえで呈茶サービスを実施した。

開催日数	6日
利用客数	105人(延人数)
協力登録団体	5団体(裏千家, 表千家, 上田宗箇流, 松莚流, OGS夢スタッフ)

【その他事業】(相互扶助事業)

美術館サポートメンバー向け事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図った。

〈令和3(2021)年度サポートメンバー加入状況〉

一般会員 146人, 特別会員 219人, 法人会員 38団体 合計 403会員

【法人関係】

令和3(2021)年度評議員会及び理事会の開催

評議員会, 理事会を次のとおり開催した。

	日 時	会 議 名	議 事 等
1	令和3(2021)年5月31日(月) 提案	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度事業報

	決議日:令和3(2021)年6月10日(木)	第1回理事会 (決議の省略による 審議 書面決議)	告及び決算報告ほか
2	令和3(2021)年6月24日(木) 14:00~	令和3(2021)年度 第1回臨時理事会	理事及び監事の候補者の 決定について及び令和 3(2021)年度第1回定時 評議員会の招集について
3	令和3(2021)年7月9日(金) 10:00~	令和3(2021)年度 第1回定時評議員会	令和2(2020)年度事業報 告, 決算報告及び理事, 監事, 評議員の選任につ いて
4	令和3(2021)年7月9日(金) 14:30~	令和3(2021)年度 第2回臨時常理事会	理事長, 副理事長の選任 について
5	令和3(2021)年11月30日(金) 14:00~	令和3(2021)年度 第2回通常理事会	令和3(2021)年度前期事 業報告, 前期収支報告及 び令和4(2022)年度企画 展(案)ほか
6	令和4(2022)年3月7日(月) 14:00~	令和3(2021)年度 第3回通常理事会	・職員就業規則の改正 (案), 基本財産の一部処 分(案)について ・令和4(2022)年度事業 計画(案)及び収支予算 (案)ほか
7	令和4(2022)年3月22日(火) 14:00~	令和3(2021)年度 第2回定時評議会	基本財産の一部処分(案) について及び令和4 (2022)年度事業計画 (案), 収支予算(案)ほか

令和3(2021)年度 三良坂平和美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

大雨により市内全域に避難勧告（洪水）避難指示が発表されたことにより来館者の安全確保を図るため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国、県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け、次の期間臨時休館した。

○大雨による休館期間

令和3年8月14日(土)午後～8月15日(日)

○新型コロナウイルス感染拡大による休館期間

令和3年8月31日(火)～9月30日(木) 31日間

令和4年1月14日(木)～3月6日(日) 52日間

1 企画展示事業

地元三良坂町出身の柿手春三の世界を堪能していただくことにより、地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的として開催した。

(1) 常設展

柿手春三作品を展示した。

	名 称	会 期	入館者数
1	I期 優しい風景①	4月1日～5月30日(49日間)	1,943人
	【概要】柿手が水彩で描いた身近な風景画。		
2	II期 優しい風景②	6月5日～7月25日(44日間)	894人
	【概要】柿手が油彩で描いた身近な風景画。		
3	III期 平和な時間	7月30日～8月30日(29日間)	237人
	【概要】柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品		
4	IV期 線を見る	10月1日～11月28日(51日間)	1,392人
	【概要】		
5	V期 みらさかコレクション	12月2日～令和4(2022)年1月13日 (33日間)	354人
	【概要】柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品		

6	VI期 みらさかコレクション	令和4(2022)年3月8日～3月21日 (13日間)	387人
	【概要】柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品		
合 計			5,207人

(2) 企画展

	名 称	会 期	入館者数
1	YOKO-BON' s WORLD	4月1日～5月31日(49日間) 全会期 3月27日～5月31日 (53日間)	1,943人 ※2,230人
	【概要】Yoko - Bonさんにより、ロシア民話「まんまるパン」のお話や身近な動物たちをフェルト等で作る人形により立体的に表現。今にも動き出しそうで、話し声までも聞こえてきそうな人形たちがくり広げる物語の世界を紹介した。		
2	県北アートシーン 31th	6月5日～7月4日(26日間)	642人
	【概要】絵画、立体、写真、陶芸等、県北在住ならびに県北に所縁のある、現在活躍中の作家の優れた作品を広く地域の人々に紹介した。		
3	第9回平和の灯ろうコンテスト 作品展	7月10日～7月24日(16日間)	249人
	【概要】広く平和祈念の機運を高めることを目的に「第9回平和の灯ろうコンテスト」の応募作品をすべて展示した。		
	堂畝絃子写真展 ～生きて繋いで～	7月31日～8月29日(27日間)	237人
	【概要】広島市在住で、自らも被爆三世である 堂畝絃子氏が2015年から取り組んできた「被爆三世の家族写真」を紹介し、展示を通して「被爆体験の継承の場」となることを願う。		
4	二宮郁子・吉原敬司二人展	10月1日～11月28日(51日間)	1,392人
	【概要】東広島市在住のカリグラフィー作家 二宮郁子氏の美しい手書きアルファベットの作品と島根県浜田市に工房を構える吉原敬司氏の組子細工作品。それぞれヨーロッパと日本の伝統的な技法を使い、モダンに表現された平面と立体、和と洋のコラボレーションを紹介した。		
5	Few lights till night	令和4(2022)年1月10日 ～1月13日(4日間) 令和4(2022)年3月8日 ～3月21日(13日間)	78人 381人
	【概要】開館30周年を迎え、これまで館が収蔵してきた作品は、油彩・水彩・日本画・書・立体・写真等 1000点を越える。これらの中から、テーマを「風景」にしぼった作品を2期に分けて展示した。また、県内の若いアーティストの作品も合		

わせて紹介した。		
	合 計	4,922 人

※常設展（219 日間） 501 人 企画展（201 日間） 4,922 人

計 219 日間 5,423 人

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

企画展と企画展の間の期間を利用して、市民の展示会場として提供した。

名 称	会 期	入館者
前原るり子作品展	12 月 4 日(土)～12 月 19 日(日) (14 日間)	216 人
【概要】吉舎町在住の前原るりこさんの水彩画や油絵などの作品		

(2) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらう。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ ワークショップ事業

事業名	日時	講師	参加者
みらさか小学校ワークショップ	6 月 23 日	美術館職員	(5 年生)16 人
合 計			16 人

折鶴を使って灯籠作りなどのワークショップへの参加を町内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかける。完成作品は館内に展示するなど、ワークショップの取り組みを通して美術館に対する関心をより深めてもらうよう計画したが新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

ウ 参加型平和への取り組み事業（三次市地域振興部 定住対策・暮らし支援課 共生社会推進係と共催）

【第9回 平和の灯ろうコンテスト】

折鶴を使って灯籠作りなどのワークショップへの参加を市内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかける。完成作品は館内に展示するなど、ワークショップの取り組みを通して美術館に対する関心をより深

めてもらう取組。

名 称		会 期			
第9回平和の灯ろうコンテスト		6月25日締め切り			
<p>【概要】広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」開催（三次市地域振興部 定住対策・暮らし支援課 共生社会推進係と協力して）、展示した。</p> <p>◎折鶴の解体は三次市内の介護施設に依頼した。</p> <p>◎応募について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でも団体でも応募できる。 ・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。 ・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。 <p>◎賞の結果について</p>					
1		幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部
	大 賞	吉舎保育所 (年長)	八次小学校 (6年A組)	川地中学校文芸部 1年生	岡崎医院デイサービス センター「たすく」
	優秀賞	こうぬ保育所 (年中)	川地小学校 (5年生)	甲奴中学校 生徒 会執行部3年	徳永 鈴子
	特別賞	神杉保育所 (年長)	みらさか小学校 6年(元原・光本・ 藤川・藤原)	広島県立庄原特別 支援学校2年池上	優輝福社会 藤原別荘
<p>応募数 (個人・団体合わせて) 383点</p> <p>幼児の部 80点 小学生の部 102点 中学生の部 61点</p> <p>一般の部 140点</p>					

令和3(2021)年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館
事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

大雨により市内全域に避難勧告（洪水）避難指示が発表されたことにより来館者の安全確保を図るため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国、県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け、次の期間臨時休館した。

○大雨による休館期間

令和3年8月14日(土)午後～8月15日(日)

○新型コロナウイルス感染拡大による休館期間

令和3年8月31日(火)～9月30日(木) 31日間

令和4年1月14日(木)～3月6日(日) 52日間

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

奥田元宋・小由女夫妻の出身地にある美術館として、地元の作家及び近年活躍が目覚ましい県内作家等の作品や長年継続して創作活動している団体等の作品を県北の地で広く紹介し、地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

	展 示 名	会 期（開館日数）	入館者数 (常設展のみの期間)
1	常 設 展	4月1日～令和4(2022)年3月31日 (239日間)	40人
	【概要】 当館所蔵の奥田元宋・小由女作品を、両氏の出身地にある美術館として通年展示した。		

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期（開館日数）	入館者数
1	二人の先達〈平野清・尾崎平八郎〉と加藤宣也絵画展	4月1日～5月9日(35日間) ※全会期 3月7日～5月9日	322人

		(56日間)	
	【概要】前年度3月7日から開催の企画展。三次市在住の加藤宣也氏が大きな影響を受けた二人の先達、平野清氏の作品5点・尾崎平八郎氏の作品4点を紹介するとともに、加藤氏の11歳から67歳に至る画業の集大成として30点を展示し広く紹介した。		
2	竹と糸の織りなす創造美 —門田祐一 瀬尾三千代二人展—	5月16日～7月11日(49日間)	370人
	【概要】竹工芸作家門田祐一氏と父篁玉氏の作品23点と染織工芸作家の瀬尾三千代氏の作品20点を一堂に展示し、工芸美術の魅力を広く紹介した。ギャラリートークでは門田氏による竹細工の実演等、素材選びから作品ができるまでの解説があり好評を得た。		
3	第15回日本画協会作品展 —新しい自分と出会う旅へ—	8月1日～9月12日(31日間)	191人
	【概要】広島県日本画協会に所属する会員の小品を中心に47点を展示し、広く紹介した。なお、大雨による臨時休館や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館により開館日は31日となった。		
4	黒木ゆり絵画展 —透明な時間—	9月19日～11月5日(43日間)	672人
	【概要】広島日展会所属の作家黒木ゆり氏が長年にわたり追求してきた「透明な時間」の空気感を表現するというテーマに沿った作品を、大型作品を中心に紹介した。会期初日から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館となり、実質的には10月からのスタートとなった。		
5	第17回広島日展会小品展	11月14日～12月19日(31日間)	379人
	【概要】日本最大の公募展「日展」を舞台に活躍する広島日展会会員の作品を一堂に展示し、書・絵画・彫刻・工芸美術など幅広いジャンルの芸術を一度に鑑賞できる展示とした。		
6	吉舎町内園児・児童・生徒 作品展	令和4(2022)年1月11日～ 2月20日(3日間)	69人
	【概要】吉舎町内の園児及び小中高校生が授業で制作した作品を①園児・小学生②中学生・高校生の2つのカテゴリー別に期間を設けて展示し、地域の子供たちの芸術への関心の向上を図ることとしていたが、開会4日目から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館となり、3日間のみ開催となった。		
7	一場洋次郎絵画展 —蒸気機関車に魅せられて—	令和4(2022)年2月27日 ～3月31日(22日間) ※全会期 ～4月10日(31日間)	232人
	【概要】三次市在住の一場洋次郎氏が、本格的に筆を握るきっかけとなった蒸気機関車をモチーフとした大型作品を初期の作品から最新作まで一堂に展示した。会期当初、3月6日までは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館。		
合 計			2,235人

※常設展(239日間)40人 企画展(209日間)2,235人

計 239日 合計 2,275人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒の鑑賞力と発表力を養いながら美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうこと、また地域の方々にも鑑賞を通して美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうことを目的に実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当館の休館等の要因が重なり、受入れの大幅な減となった。

【団体鑑賞受入実績】

	事業名	期日	入館者数
1	「まちたんけん」 ～どんな場所か行ってみよう！～ (吉舎小学校2年生)	6月23日	7人
2	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所)	令和4(2022)年 1月12日	46人
3	美術作品鑑賞と企画展展示作品鑑賞 (社会福祉法人あらくさ)	令和4(2022)年 3月15日	5人
4	美術作品鑑賞と企画展展示作品鑑賞 (社会福祉法人あらくさ)	令和4(2022)年 3月25日	5人
5	地域学習(フィールドワーク) (吉舎中学校)	令和4(2022)年 3月23日	25人
合計			88人

II 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

三玉大塚古墳出土品、南天山城跡出土品、和智氏関係資料及び昔の農家(囲炉裏)、民具・農具の展示を通して、郷土の歴史・文化に対する理解や親しみを深めてもらいながら、地域文化の向上に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示した。

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期	入館者数
1	－広島県無形民俗文化財－神 殿入のすべて	5月1日～8月22日（100日間）	133人
	【概要】広島県無形民俗文化財に指定されている吉舎町の辻八幡神社に伝わる神迎 えの行事を淵源から解き明かすとともに現在の姿も紹介し、地域の行事として脈々 と受け継がれてきた魅力に迫る展示とした。		
2	気まま・そのまま・表現大好 き！－社会福祉法人社会福祉法 人あらくさの作品展－	8月28日～9月26日（2日間）	5人
	【概要】誰もが支えあい暮らしていける地域社会をサポートする福祉施設に通う障 害者の表現する喜びに満ちた作品を展示したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴 う臨時休館となり2日間の紹介となった。		
3	銀山街道からの報告 －伊能地図からの報告－	10月3日～12月22日（70日間）	117人
	【概要】布野町の横谷自治連と連携をとり、伊能忠敬が作成した地図を中心に銀山 街道筋と現在の道筋を比較する資料を展示した。		
4	みよし文化祭入賞 児童生徒の俳句短歌作品展	令和4(2022)年1月11日 ～2月27日（3日間）	53人
	【概要】三次市文化連盟が主催する「みよし文化祭」と連携し、投稿された小中高 校生の作品の中から入賞した95点を展示し、子どもの頃から日々の暮らしの中で 文芸に親しむ態度を涵養する一助とする予定だったが、新型コロナウイルス感染拡 大に伴う臨時休館となり3日間の紹介となった。		
5	気まま・そのまま・表現大好 き！－社会福祉法人社会福祉法 人あらくさの作品展－	令和4(2022)年3月5日 ～3月31日（22日間） ※全会期 ～4月3日（25日間）	72人
	【概要】夏の企画展示が新型コロナウイルス感染拡大により2日間のみで紹介とな ったことから、出展された事業所の強い要望により再度展示し広く紹介させていた だいた。		
合計入館者数 197日間			380人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒や地域の方々に、地域の歴史や昔の農家の日常生活（囲炉裏等）・
民具・農具等に対する理解や親しみを深めてもらうことを目的に実施し
た。（美術館団体鑑賞との重複 5件）

【団体鑑賞受入実績】

	名 称	期 日	入館者数
1	「まちたんけん」 ～どんな場所か行ってみよう！～ (吉舎小学校2年生)	6月23日	7人
2	郷土の歴史学習 ～常設展示から学ぶ吉舎町の歴史～ (吉舎小学校6年生)	6月29日	17人
3	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所)	令和4(2022)年 1月12日	46人
4	美術作品鑑賞と企画展展示作品鑑賞 (社会福祉法人あらくさ)	令和4(2022)年 3月15日	5人
5	美術作品鑑賞と企画展展示作品鑑賞 (社会福祉法人あらくさ)	令和4(2022)年 3月25日	5人
6	地域学習(フィールドワーク) (吉舎中学校)	令和4(2022)年 3月23日	25人
合 計			105人

イ ワークショップ事業

	事 業 名	期日	講 師	参加者数
1	ミニ灯ろうづくり体験	7月25日	辻区神殿入り保存会 (奥村・林・高岡)	4組(11人)
2	銀山街道ウォーキング	11月28日	きさ・よいとこ発見隊	14人
合 計				25人

※美術館あーとあい・きさ入館者 2,275人 吉舎歴史民俗資料館入館者 405人
計 239日 合計入館者数 2,680人